

## 幼児教育学科

科目名: 保育実践演習				担当教員 氏名: 山本 二郎					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	専門科目	演習	必修	保育士資格指定科目(必修)			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
保育・教育現場における音楽教育に役立てるため、歌やピアノを中心とした各楽器の演奏技術を高めながら、自らの感性を磨いていく。そしてソロやアンサンブルを含めたコンサートを企画し、学内外での実施を目指す。また音楽が子どもの成長にどのように影響するかを考察する。						音楽と子ども 感性 演奏技術			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		3. 4. 6. 7. 8. 10				
B 専門的技術	歌、ピアノ、各楽器の奏法を学び、表現力を身につける。								
F チームワーク・リーダーシップ	アンサンブルやコンサート発表を通して協調性、積極性、責任感を培う。								
H コミュニケーション力	学内外でのコンサートを通して子どもたちと触れ合いコミュニケーション力を身につける。								
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	50 %	実技試験:	%	その他:	50 %
特記事項:「その他 50%」の部分では学習態度を評価する。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:発表は別に定めた日時に行う。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:									
授 業 計 画						準備学習(予習・復習等)			
						学習内容		学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス(授業内容・目的等の説明)						授業内容の確認		60分以上	
②各楽器の奏法の確認						各楽器奏法の復習		60分以上	
③コンサート(2回分)の企画と内容の作成						演奏曲目の選考と確認		60分以上	
④実技演習1(アンサンブルを中心に)						アンサンブル奏法の習得		60分以上	
⑤実技演習2(アンサンブルを中心に)						アンサンブル奏法の習得		60分以上	
⑥実技演習3(ソロを中心に)						各楽器の奏法の習得		60分以上	
⑦実技演習4(ソロを中心に)						各楽器の奏法の習得		60分以上	
⑧Aプログラムの通し演習と振り返り						プログラムの振り返りどまどめ		60分以上	
⑨実技演習5(ピアノソロを中心に)						ピアノ奏法の習得		60分以上	
⑩実技演習6(ピアノソロ・連弾を中心に)						ピアノソロ・連弾奏法の習得		60分以上	
⑪実技演習7(ピアノソロ・連弾を中心に)						ピアノソロ・連弾奏法の習得		60分以上	
⑫実技演習8(アンサンブルを中心に)						アンサンブル奏法の習得		60分以上	
⑬実技演習9(アンサンブルを中心に)						アンサンブル奏法の習得		60分以上	
⑭実技演習10(アンサンブルを中心に)						アンサンブル奏法の習得		60分以上	
⑮Bプログラムの通し演習と振り返り						プログラムの振り返りどまどめ		60分以上	
使用テキスト:						その他参考文献など:			
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):									